

藤岡市地球温暖化対策実行計画
(事務事業編)

平成 30 年度実績報告書

令和 2 年 1 月

藤 岡 市

目 次

第 1 章 計画の概要.....	1
1 計画の期間	1
2 計画の対象範囲.....	1
3 計画の目標	2
第 2 章 温室効果ガスの排出状況	3
1 温室効果ガスの総排出量	3
2 活動別の温室効果ガスについて.....	4
(1) 燃料の使用	4
(2) 電気の使用	6
(3) 廃棄物の焼却	7
(4) その他.....	9
(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量.....	10
3 総括.....	11
4 資料 1 対象施設一覧.....	12
資料 2-1 平成 30 年度活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	14
資料 2-2 基準年度(平成 27 年度)活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	15
資料 3-1 平成 30 年度所属別温室効果ガス排出状況.....	16
資料 3-2 基準年度(平成 27 年度)所属別温室効果ガス排出状況.....	17

第1章 計画の概要

本市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく地方公共団体実行計画として、「藤岡市地球温暖化対策実行計画（以下、実行計画という）」を平成19年9月に策定し、市自らの事務・事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んできました。

現在、平成29年3月に策定した第3期実行計画に基づき市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進しており、本報告書は、第3期計画の実施状況を取りまとめたものです。

1 計画の期間

基準年度を平成27年度とした、平成29年度から令和3年度までの5年間

2 計画の対象範囲

(1) 対象となる事務・事業（対象施設については資料1参照）

本庁舎及び出先機関を含めたすべての市の組織及び施設等に係る事務・事業を対象とします（指定管理者制度により民間事業者等に管理運営を委託している施設等も含む）。

(2) 対象となる温室効果ガス

二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）とします。法律で対象としているパーフルオロカーボン（PFC）及び六フッ化硫黄（SF₆）については、市の事務・事業からは排出につながる活動がない、あるいは排出量の把握が困難であるため対象外としています。

表1 基準年度（平成27年度）の温室効果ガス排出量と排出要因

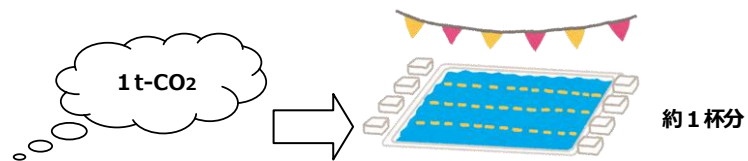
種 類	ガス排出量 (t)	地球温暖化 係数	CO ₂ 換算量 (t-CO ₂)	CO ₂ 排出量 割合
CO ₂ (二酸化炭素) 我が国における温室効果ガス排出量の9割以上を占めている。 要因：化石燃料の燃焼、電気の使用、廃プラスチックの焼却等	16,245	1	16,245	97.32%
CH ₄ (メタン) 天然ガスの主成分。有機物が嫌気状態で腐敗・発酵する際に生じる。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	0.039	25	1	0.01%
N ₂ O(一酸化二窒素) 窒素酸化物。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	1.482	298	442	2.65%
HFC(ハイドロフルオロカーボン) 代替フロンとして冷媒等に使用されている。 要因：カーエアコンの使用	0.002	1,430	3	0.02%
計			16,691	100.00%

3 計画の目標

基準年度を平成 27 年度とし、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間で、温室効果ガス総排出量を**毎年 1%、5 年間で 5%以上削減**することを目標としています。

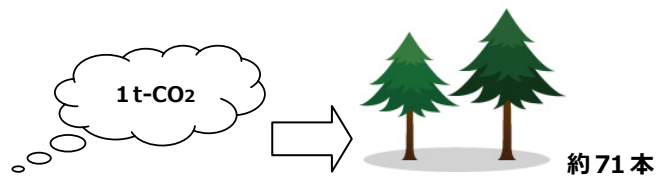
たとえば・・・

温室効果ガス 1 t の体積は 25m プール 1 杯分とほぼ等しい量となります。



また・・・

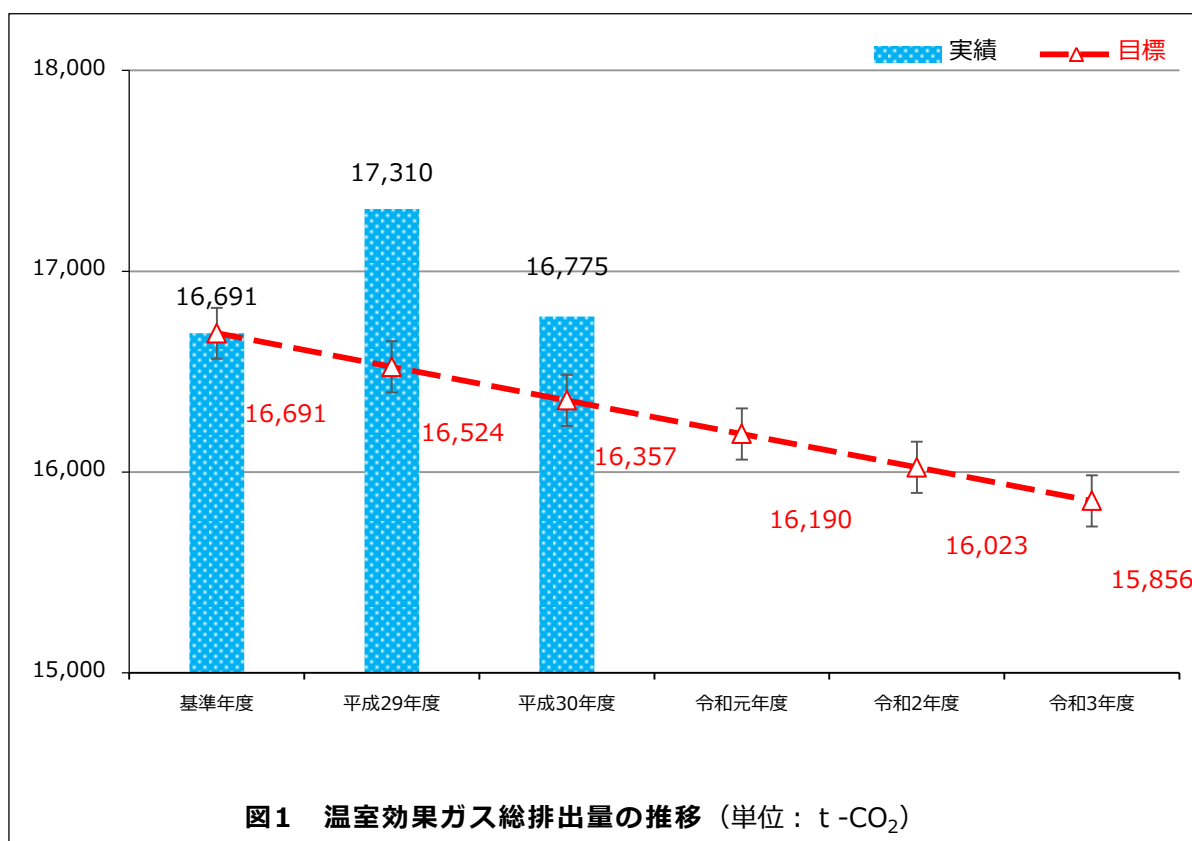
温室効果ガス 1 t を吸収するためには、杉の木が約 71 本必要となります。



第2章 温室効果ガスの排出状況

1 温室効果ガスの総排出量

平成30年度の市の事務・事業に伴う温室効果ガスの総排出量は**16,775 t-CO₂**となり、基準年度比で**0.5% (84 t-CO₂)**増加しました。なお、この増加した温室効果ガスを杉の木が吸収するためには約6,000本必要となります。



温室効果ガス排出量の活動別排出量の推移については表2のとおりとなります。

表2 活動別温室効果ガス排出量の推移 (単位: t-CO₂)

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	増減量	増減率
燃料の使用	2,068	1,933	1,932	-136	-6.6%
電気の使用	8,707	8,225	8,157	-550	-6.3%
廃棄物の焼却	5,904	7,140	6,673	769	13.0%
その他	12	12	13	1	8.3%
合計	16,691	17,310	16,775	84	0.5%

2 活動別の温室効果ガスについて

(1) 燃料の使用

燃料の使用による温室効果ガス排出量については基準年度と比較して**6.6% (136 t-CO₂) 減少**しました。(表3)

A重油の排出量が減少した主な要因は、老人福祉センターにおいてA重油を使用していたエアコンを補助する機械が故障したことにより機械を使用しなくなったこと等になります。

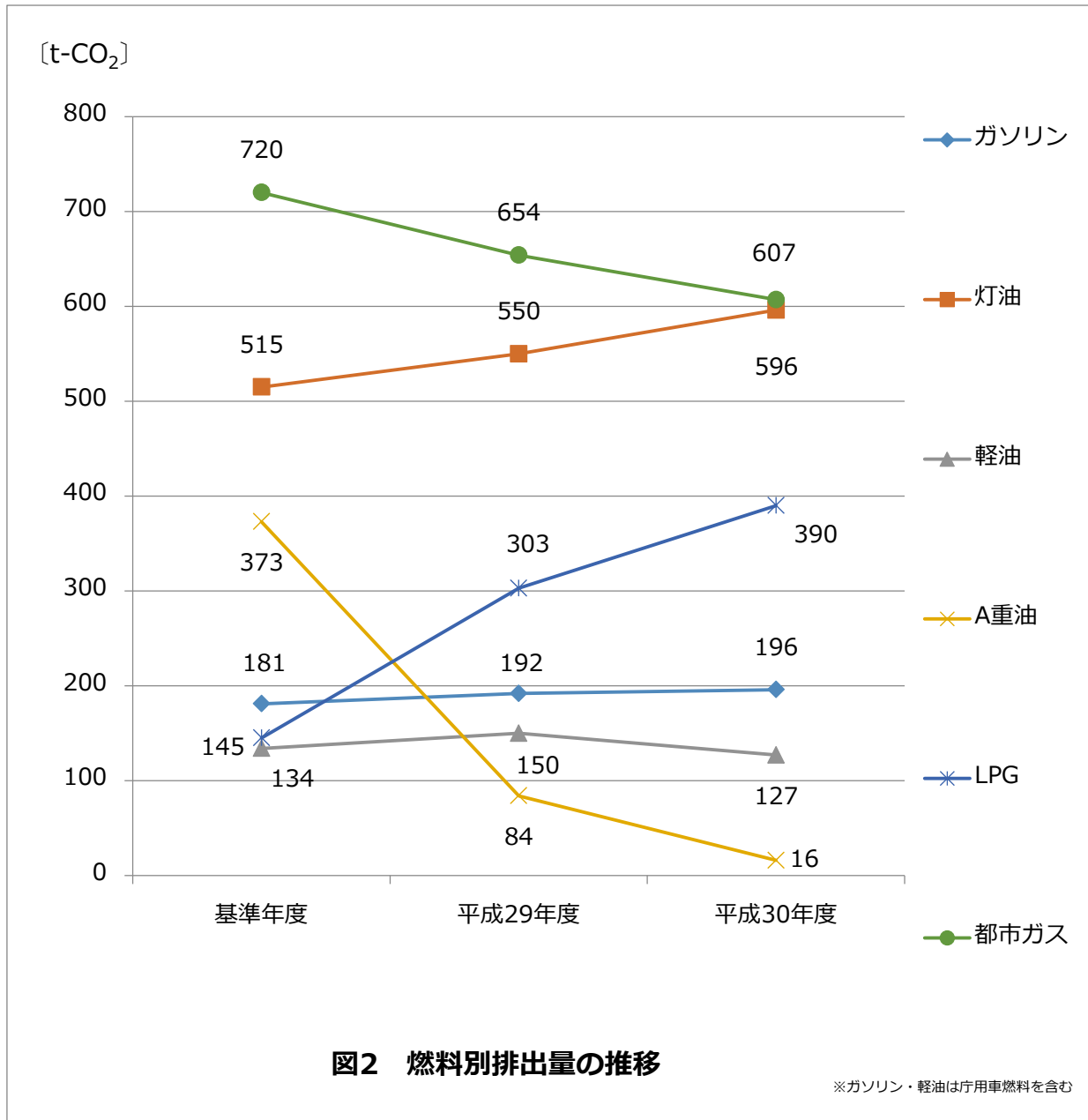
LPGの排出量が増加した主な要因は、新学校給食センターでA重油の代わりにLPGを使用することになったこと等になります。

表3 燃料の種類別温室効果ガス排出状況 (t-CO₂換算)

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	増減量	増減率
ガソリン	181	192	196	15	8.3%
灯油	515	550	596	81	15.7%
軽油	134	150	127	-7	-5.2%
A重油	373	84	16	-357	-95.7%
LPG	145	303	390	245	169.0%
都市ガス	720	654	607	-113	-15.7%
温室効果ガス 排出量合計	2,068	1,933	1,932	-136	-6.6%

燃料別の排出量をグラフに示したものは下記のとおりとなります。（図2）

各項目をみると、基準年度と比較して軽油、A重油、都市ガスにおいて排出量が減少した一方で、ガソリン、灯油、LPGは増加しました。



(2) 電気の使用

電気の使用による温室効果ガスの排出量については基準年度比**6.3 % (550 t-CO₂)**減少しました。

温室効果ガス排出量が基準年度と比較して減少したのは、中央浄水場をはじめとする水道施設、各小中学校等での電気使用量が減少傾向にあること、使用されなくなった施設が増加したことが主な要因と考えられます。

表4 電気の使用による温室効果ガス排出量

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	増減量	増減率
電気の使用による 温室効果ガス 排出量(t-CO ₂)	8,707	8,225	8,157	-550	-6.3%

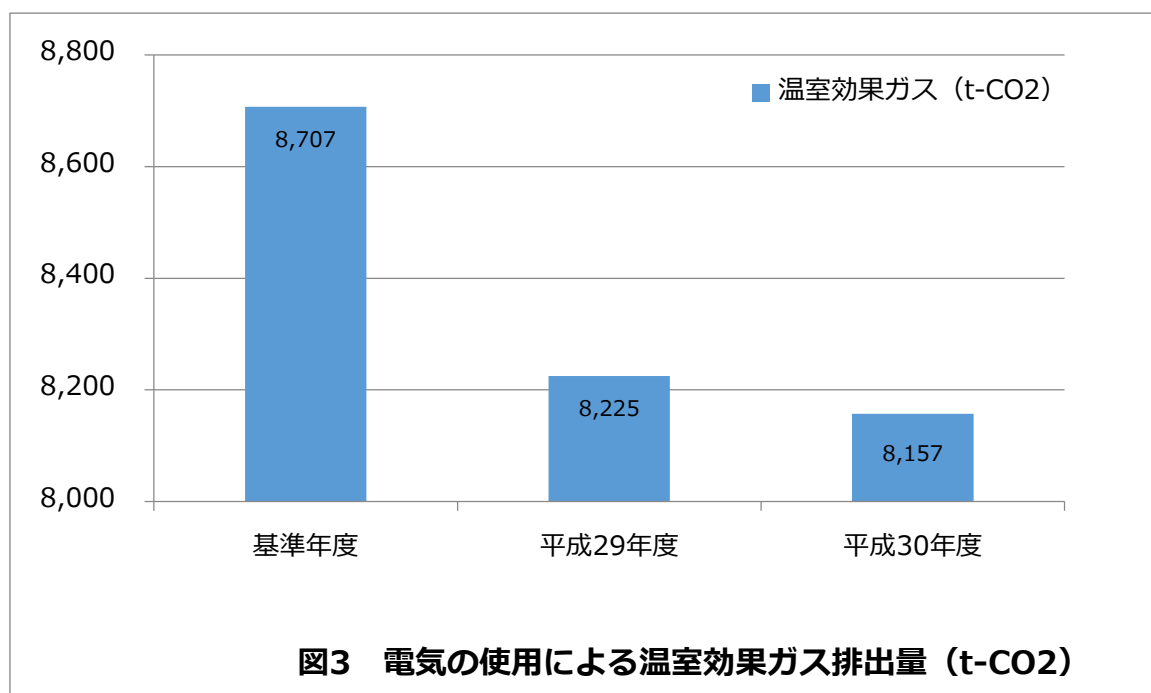


図3 電気の使用による温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

(3) 廃棄物の焼却

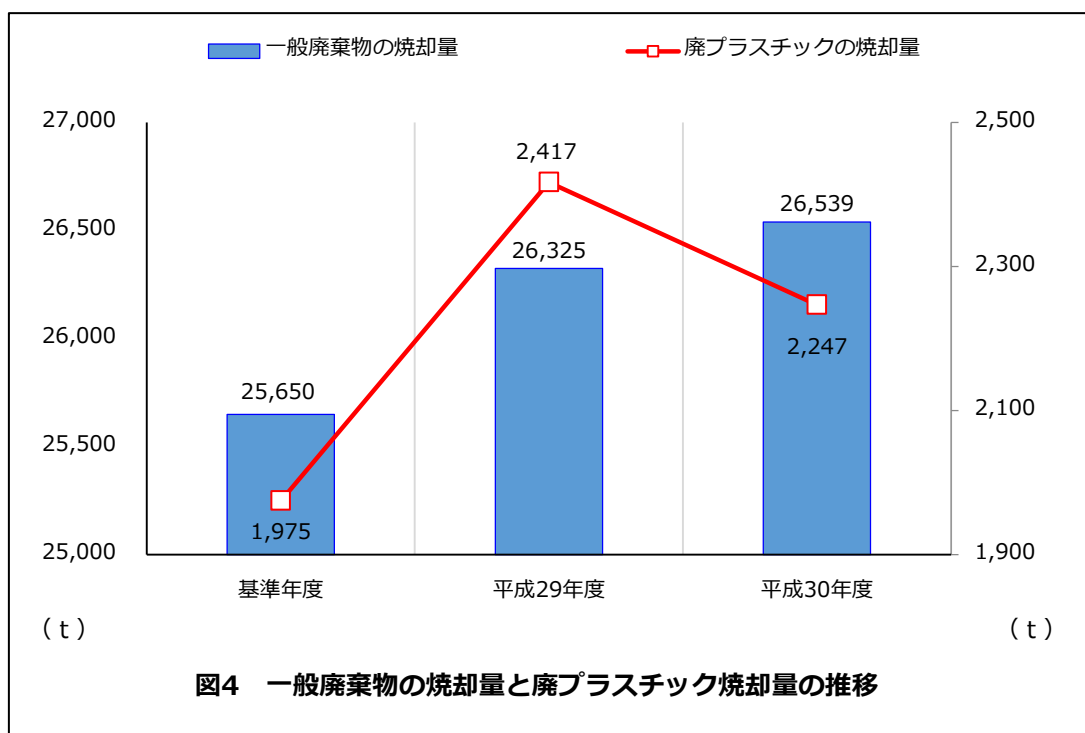
廃棄物の焼却に由来する温室効果ガスの排出量は、基準年度と比較して **13.0 % (769 t-CO₂)** 増加しました。これは、一般廃棄物の焼却量が基準年度よりも3.5 % (889 t) 多かったこと、一般廃棄物に含まれる廃プラスチック（ビニール、プラ容器など）の割合が高かったことが影響していると考えられます。一方で、廃プラスチックは焼却することで発生する熱エネルギーが大きいいため、廃プラスチックを廃棄物燃焼の燃料として活用するサーマルリサイクルに利用している一面もあります。

廃プラスチックの焼却由来の温室効果ガス排出量については、総排出量の4割程度を占めており、温室効果ガスの削減に大きな影響を与えていますが、市の事務・事業から排出されるごみの他、一般家庭や事業所などから排出されるごみも算定に含まれるため、市の取り組みだけでは温室効果ガス排出量削減の推進は困難な状況となっています。

表5 廃棄物焼却による温室効果ガス排出量と各種焼却量

	基準年度 (平成 27 年度)	平成 29 年度	平成 30 年度	増減量	増減率
廃棄物焼却由来温室効果ガス(t-CO ₂)	5,904	7,140	6,673	769	13.0%

	基準年度 (平成 27 年度)	平成 29 年度	平成 30 年度	増減量	増減率
一般廃棄物の焼却量 (t)	25,650	26,325	26,539	889	3.5%
廃プラスチックの 焼却量 (t)	1,975	2,417	2,247	272	13.8%



なお、一般廃棄物の中に含まれる廃プラスチックの焼却量は、一般廃棄物焼却量とその一般廃棄物に含まれるプラスチック類比率の2点が大きく影響します。廃プラスチック焼却量は、下図で示す算定方法により、年4回実施されているごみ組成分析結果の水分含有率とプラスチック類比率を基に推計されます。

一般廃棄物焼却量 × (1 - 水分含有率) × プラスチック類比率		
項目	基準年度	平成30年度
一般廃棄物焼却量	25,650 t	26,539 t
水分含有率	45.6 %	41.2 %
プラスチック類比率	14.0 %	14.4 %
廃プラスチック焼却量	1,975 t	2,247 t

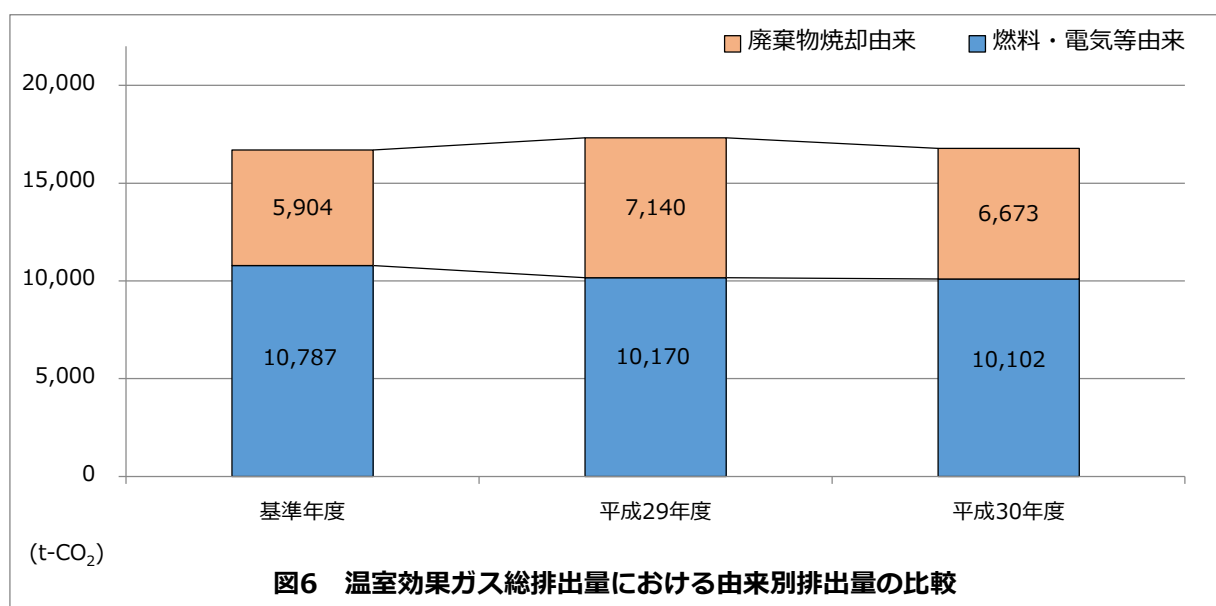
図5 廃プラスチックの焼却量の算定方法

温室効果ガスの排出量に最も大きな影響を与えている一般廃棄物（廃プラスチックの焼却を含む）の焼却処分した部分を除いて算定した場合の平成30年度温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して**6.4%減少しました**。表6、図6に示したとおり、温室効果ガスの総排出量は一般廃棄物の焼却由来の排出量に大きく左右されていることがうかがえます。

表6 一般廃棄物の焼却由来の排出量を除いた温室効果ガス排出量

種類	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	増減量	増減率
燃料・電気・その他	10,787	10,170	10,102	-685	-6.4%
廃棄物焼却	5,904	7,140	6,673	769	13.0%
総排出量	16,691	17,310	16,775	84	0.5%

(単位：t-CO₂)



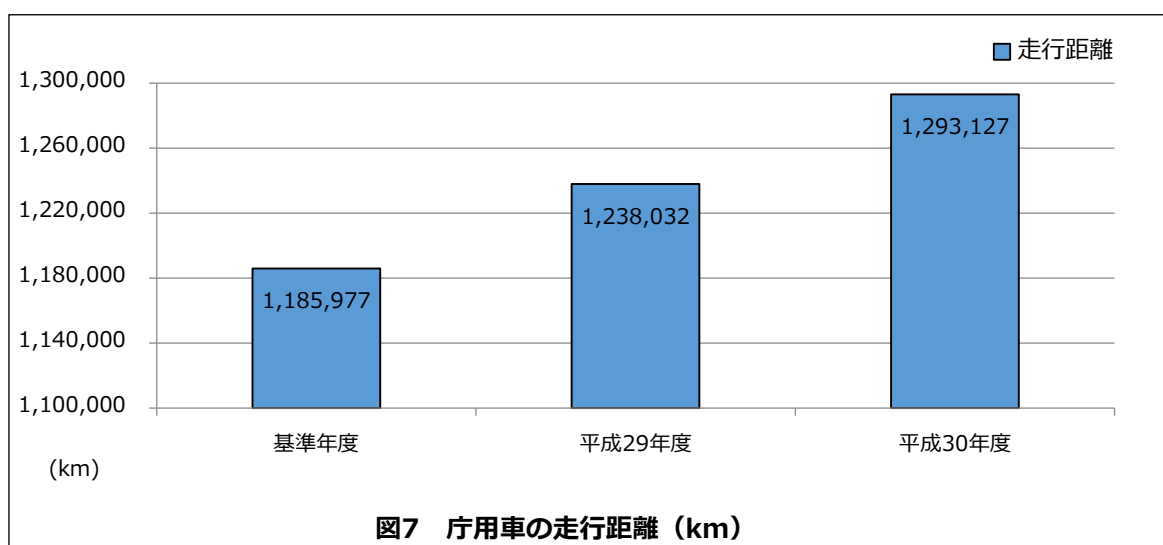
(4) その他

① 庁用車走行距離

庁用車の走行距離については、基準年度比で **9.0 % (107,150 km)** 増加しました。

表 7 自動車の走行距離と温室効果ガス排出量

	基準年度 (平成 27 年度)	平成 29 年度	平成 30 年度	増減量	増減率
走行距離合計 (km)	1,185,977	1,238,032	1,293,127	107,150	9.0%
温室効果ガス 排出量(t-CO ₂)	9	9	10	1	11.1%



② その他

カーエアコン搭載車数は基準年度と比較して 3 台増加しましたが、カーエアコンの搭載車数から算定される温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して増減はありませんでした。

なお、笑気ガス（麻酔剤）の使用はありませんでした。

表 8 その他項目

	基準年度 (平成 27 年度)	平成 29 年度	平成 30 年度
カーエアコン 搭載車数 (台)	222	230	225
温室効果 ガス(t-CO ₂)	3	3	3
笑気ガス (麻酔剤) 使用量 (kg)	0	0	0

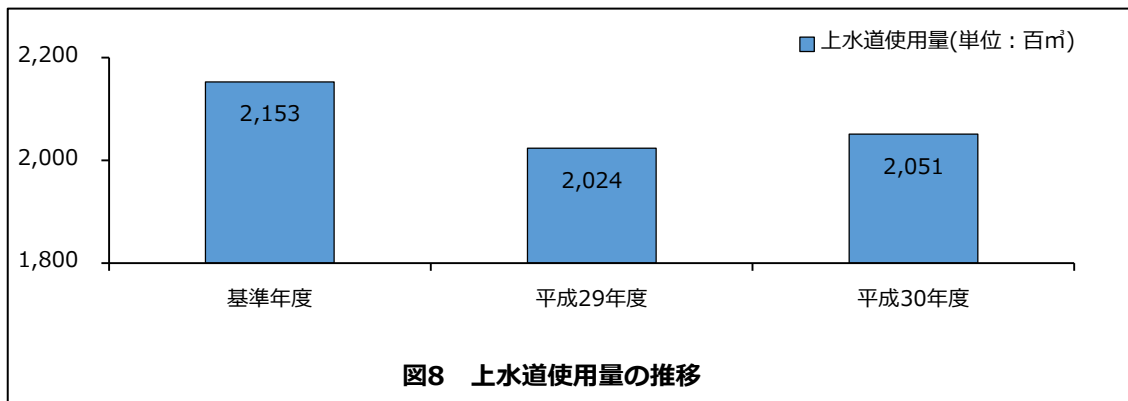
(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量

①上水道使用量

基準年度と比較して**4.7%（10,152 m³）減少**しました。これは、25mプール約40杯分の水道水を削減したことになります。細かな節水の積み重ね等が奏功したことが要因と考えられます。

表9 上水道使用量

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	増減量	増減率
上水道使用量 (m ³)	215,254	202,382	205,102	-10,152	-4.7%

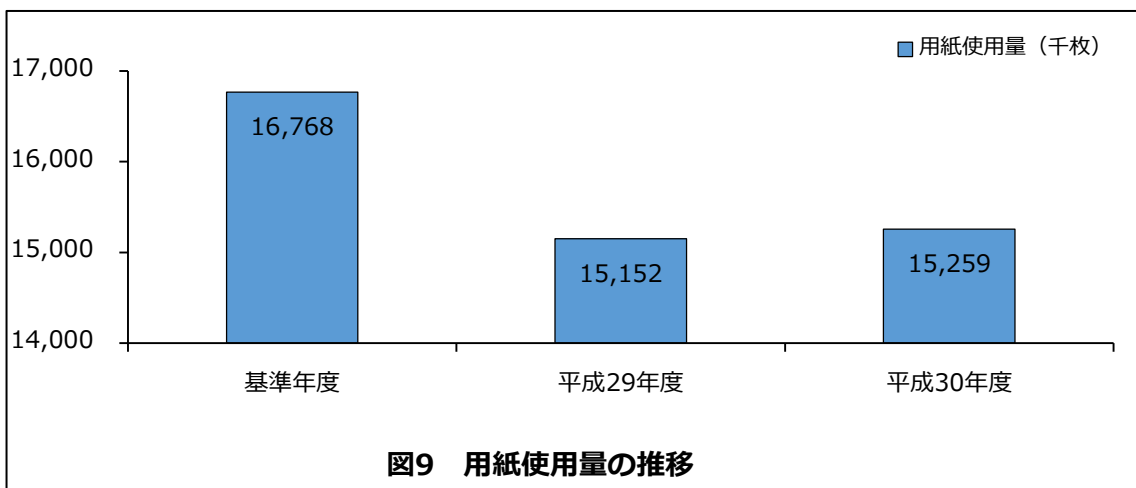


②用紙使用量

基準年度と比較して**9.0%（1509千枚）の減少**となりました。これは、市で購入しているA4コピー用紙（1箱2,500枚入）約600箱分、使用量が減少したことになります。

表10 用紙使用量

	基準年度 (平成27年度)	平成29年度	平成30年度	増減量	増減率
用紙使用量 (千枚)	16,768	15,152	15,259	-1,509	-9.0%



3 総括

平成 29 年度に策定した「第 3 期藤岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進してきました。

計画の目標としては令和 3 年度までに温室効果ガス総排出量を 5%以上削減することとされていますが、平成 30 年度の排出量実績は、基準年度と比較して 0.5%の増加となりました(P3,表 2)。

温室効果ガス排出量の活動別排出量は、燃料の使用による温室効果ガス排出量は 6.6%減、電気の使用による温室効果ガス排出量は 6.3%減となりましたが、廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量は 13.0%増となりました。

燃料の使用による温室効果ガス排出量は、基準年度と比べて減少しましたが、ガソリンの使用量は増加傾向にあります。低公害車・低燃費車の導入を推進するだけでなく、職員に対しエコドライブへの取り組みを周知するなど、さらなる取り組みを行っていく必要があります。

電気の使用による温室効果ガス排出量については、総排出量の約 49%を占めており、温室効果ガスの削減に最も大きな影響を与えています。基準年度と比べると温室効果ガス排出量は減少していますが、今後も積極的に使用量を削減していく必要があるため、職員に対する電気使用量削減のための取り組み策の周知等を行い、省エネを進める必要があります。

廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量が増加したのは、一般廃棄物の焼却量とそれに含まれる廃プラスチックの焼却量が基準年度に比べて増加したことに伴い、温室効果ガス排出量も増加したことが大きく影響しています。一般廃棄物、特に廃プラスチックの焼却に関しては、職員の取り組みだけで総量を削減することは困難であり、市民や事業者の協力が不可欠となります。ごみの減量化については、市民・事業者に対するごみの分別と減量化に関する啓発活動を粘り強く行っていく必要があります。

このような中、今年度、環境課ではごみ減量化に繋がる取り組みとして、昨年度以前から引き続き「群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会」と連携し、マイバッグの使用を呼びかけレジ袋の削減を促す店頭啓発活動を実施しました。今年度は環境省「地方と連携した地球温暖化対策活動推進事業」を活用し、実施回数・店舗数を増やすなど重点的に取り組みを進めました。また、食品ロスを減らすために群馬県主催「ぐんまちゃんの食べきり協力店」の登録推進を実施しました。清掃センターでは、一般廃棄物の排出量削減のために、廃食油の回収や剪定枝粉碎機の貸し出しによる剪定枝の堆肥化の推進を実施しています。市民や事業者への浸透は時間を要しますが、このような具体的かつ継続的な取り組みを行っていくことが市全体のごみ減量化に繋がると考えられるため、ごみ問題の意識が根付いていくよう啓発活動を続けていきます。

本計画は、市役所の事務・事業に係るものであり、計画の推進には職員一人ひとりの取り組みが重要です。一方で、温室効果ガス排出に多大な影響を与えている一般廃棄物の焼却量は、一般家庭や事業所などから排出されるものを含んでいるため、市の取り組みだけでなく、市民や事業者の協力が不可欠となります。そのため、環境情報の提供を行うことによる、職員の意識高揚を図るとともに、市民、事業者に対する啓発活動を積極的に実施し、本計画に掲げる目標達成に向けて取り組みを進めます。

4 資料

資料1 対象施設一覧

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課
1	本庁舎	財政課	40	老人福祉センター	介護高齢課
2	中庁舎		41	高齢者自立センター-藤岡	
3	東庁舎		42	高齢者自立センター-鬼石	
4	三波川東集会場		43	小野保育園	子ども課
5	平滑ゲートボール場		44	おにし保育園	
6	旧三波川幼稚園		45	みどの学童クラブ	
7	旧日野中央小学校		46	藤岡中央児童館	
8	旧日野西小学校		47	ららん藤岡	商工観光課
9	旧ゆったり館		48	ふじふれあい館	
10	旧みかぼ保育園		49	土と火の里公園	
11	みかぼみらい館	自治交流課	50	他観光施設等	農林課
12	三波川第2コミュニティセンター		51	農業研修センター	
13	本庁舎（非常用発電装置）	総務課	52	蛇喰溪谷休憩所	農村整備課
14	防災センター	地域安全課	53	藤岡かんがい排水施設	
15	第1分団詰所		54	他かんがい排水施設等	
16	第2分団詰所		55	街路灯等	土木課
17	第3分団詰所		56	庚申山総合公園	都市施設課
18	第4分団詰所		57	毛野国白石丘陵公園	
19	第5分団詰所		58	藤岡総合公園	
20	第6分団詰所		59	中央公園	
21	第7分団詰所		60	城山公園	
22	第8分団詰所		61	浅間公園	
23	第9分団詰所		62	旭公園	
24	第11分団詰所		63	北の原公園	
25	第12分団詰所		64	美土里公園	
26	第13分団詰所		65	城址緑地	
27	第14分団詰所		66	烏川緑地	
28	他消防施設等	67	神流川緑地		
29	偕同苑	市民課	68	市民プール（みずとびあ）	北藤岡駅周辺土地区画整理事務所
30	清掃センター	清掃センター	69	他公園等	
31	鬼石資源化センター		70	北藤岡駅周辺土地区画整理事務所	
32	コミュニティ・センター（やすらぎ）		71	他排水施設等	
33	保美憩いの広場	健康づくり課	72	鬼石総合支所	地域振興課
34	保健センター		73	旧鬼石総合支所	
35	福祉会館	福祉課	74	桜山公園	にぎわい観光課
36	栗須の郷		75	自然活用管理センター（やどや）	
37	生活介護センター（もくせい）		76	体験学習館（MAG）	
38	障害者支援センターきらら		77	譲原農産物処理加工施設天神茶屋	
39	児童デイサービスセンターふらっと		78	平・根際農事集会所	

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課
79	宇塩山村活性化センター	にぎわい観光課	109	日野小学校	教育総務課
80	小平山村活性化センター		110	鬼石北小学校	
81	妹ヶ谷山村活性化センター		111	鬼石小学校	
82	他観光施設等		112	東中学校	
83	中央浄水場	経営課 浄水課	113	北中学校	
84	北部浄水場		114	小野中学校	
85	東部浄水場		115	西中学校	
86	上の山浄水場		116	鬼石中学校	
87	中倉簡易水道施設		117	にじの家	学校教育課
88	三友簡易水道施設		118	藤岡公民館	生涯学習課
89	芝平簡易水道施設		119	神流公民館	
90	鹿島簡易水道施設		120	小野公民館	
91	塩平小水道施設		121	美土里公民館	
92	犬目簡易水道施設		122	美九里公民館	
93	大栃小水道施設		123	平井公民館	
94	妹ヶ谷簡易水道施設		124	日野公民館	
95	三波川中部簡易水道施設	125	藤岡市民ホール		
96	他上水道施設等	126	鬼石多目的ホール		
97	汚水中継ポンプ等	下水道課	127	上大塚東組集会所	文化財保護課
98	国民健康保険鬼石病院	鬼石病院	128	中原集会所	
99	介護老人保健施設鬼石	事務課	129	駒形集会所	
100	総合学習センター	教育総務課 生涯学習課	130	国指定史跡高山社跡	文化財保護課
101	藤岡第一小学校	教育総務課	131	世界遺産高山社跡交流センター	
102	藤岡第二小学校		132	埋蔵文化財収蔵庫	
103	神流小学校		133	関東管領平井城址公園	
104	小野小学校		134	関東管領金山城址公園	
105	美土里小学校		135	他文化財施設等	
106	美九里東小学校		136	給食センター	学校給食センター
107	美九里西小学校		137	図書館	図書館
108	平井小学校				

平成31年3月31日現在

資料 2-1 平成 30 年度 活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO ₂)	構成比		
CO ₂	燃料使用量	ガソリン	84,543	ℓ	196,140	1.17%		
		灯油	239,469	ℓ	596,277	3.56%		
		軽油	49,392	ℓ	127,430	0.76%		
		A重油	5,800	ℓ	15,718	0.09%		
		液化石油ガス(LPG)	155,172	kg	389,481	2.32%		
		都市ガス	282,310	m ³	606,967	3.62%		
	電気使用量	東京電力(株)	13,373,531	kwh	6,352,427	37.87%		
		エネサーブ(株)	2,144,567	kwh	879,272	5.24%		
		リエスノパワー(株)	345,555	kwh	180,034	1.07%		
		(株)エネット	120,614	kwh	51,020	0.30%		
		楽天モバイル(株)	768,752	kwh	440,495	2.63%		
		(株)NTT ファシリティーズ	273,659	kwh	253,956	1.51%		
一般廃棄物(廃プラスチック)焼却量		2,247	t	6,224,190	37.10%			
CH ₄	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	217,111	km	54	0.00%	
			軽自動車	290,728	km	73		
			普通貨物車	7,141	km	6		
			小型貨物車	109,757	km	41		
			軽貨物車	348,782	km	96		
			特殊用途車	4,270	km	4		
		軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
			普通貨物車	120,785	km	45		
			小型貨物車	26,262	km	5		
			特殊用途車	77,317	km	25		
			バス	90,974	km	39		
			一般廃棄物焼却量	26,539	t	630		0.00%
	N ₂ O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	217,111	km	1,876	0.05%
				軽自動車	290,728	km	1,906	
普通貨物車				7,141	km	83		
小型自動車				109,757	km	850		
軽貨物車				348,782	km	2,287		
特殊用途車				4,270	km	45		
軽油			普通・小型自動車	0	km	0		
			普通貨物車	120,785	km	504		
			小型貨物車	26,262	km	70		
			特殊用途車	77,317	km	576		
			バス	90,974	km	678		
			一般廃棄物焼却量	26,539	t	448,424	2.67%	
笑気ガス使用量		0	kg	0	0.00%			
HFC		封入カーエアコンの台数		225	台	3,218	0.02%	
合計(CO ₂ 換算量)					16,774,942	100.00%		

資料 2-2 基準年度（平成 27 年度）活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO ₂)	構成比	
CO ₂	燃料使用量	ガソリン	78,117	ℓ	181,231	1.09%	
		灯油	206,887	ℓ	515,149	3.09%	
		軽油	51,805	ℓ	133,657	0.80%	
		A重油	137,600	ℓ	372,896	2.23%	
		液化石油ガス(LPG)	57,710	kg	144,852	0.87%	
		都市ガス	334,876	m ³	719,983	4.31%	
	電気使用量	東京電力(株)	13,574,861	kwh	6,855,305	41.07%	
		丸紅(株)	1,912,363	kwh	921,759	5.52%	
		エネサーブ(株)	1,261,108	kwh	799,542	4.79%	
		日本ロジテック協同組合	272,565	kwh	105,210	0.63%	
		(株)エネット	54,643	kwh	24,808	0.15%	
一般廃棄物(廃プラスチック)焼却量		1,975	t	5,470,750	32.78%		
CH ₄	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	48	0.00%
			軽自動車	261,225	km	65	
			普通貨物車	0	km	0	
			小型貨物車	112,718	km	42	
			軽貨物車	282,571	km	78	
			特殊用途車	9,259	km	8	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	124,969	km	47		
		小型貨物車	21,336	km	4		
		特殊用途車	69,129	km	22		
		バス	111,782	km	48		
一般廃棄物焼却量		25,650	t	609	0.00%		
N ₂ O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	1,668	0.05%
			軽自動車	261,225	km	1,713	
			普通貨物車	0	km	0	
			小型自動車	112,718	km	873	
			軽貨物車	282,571	km	1,853	
			特殊用途車	9,259	km	97	
	軽油	普通・小型自動車	0	km	0		
		普通貨物車	124,969	km	521		
		小型貨物車	21,336	km	57		
		特殊用途車	69,129	km	515		
		バス	111,782	km	833		
一般廃棄物焼却量		25,650	t	433,398	2.60%		
笑気ガス使用量		0	kg	0	0.00%		
HFC	封入カーエアコンの台数		222	台	3,175	0.02%	
合計(CO ₂ 換算量)					16,690,816	100.00%	

資料 3-1 平成 30 年度 所属別温室効果ガス排出状況 (CO₂換算 : 単位 k g-CO₂)

所属名	燃料の使用						電気 の使用	廃棄物 の使用	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	L P G	都市ガス				
秘書課	4,533	0	0	0	0	0	0		223	4,756
財政課	19,340	8,137	19,745	0	0	189	242,111		1,568	291,090
自治交流課	0	134	0	0	8	138,828	279,893		0	418,862
総務課	0	0	58	0	0	0	0		0	58
地域安全課	7,561	0	6,089	0	0	0	24,878		450	38,978
契約検査課	580	0	0	0	0	0	0		35	615
市民課	510	134,946	0	0	0	327	23,664		43	159,489
税務課	650	0	0	0	0	0	0		40	689
納税相談課	1,271	0	0	0	0	0	0		96	1,368
保険年金課	557	0	0	0	0	0	0		47	604
環境課	2,622	0	0	0	0	0	0		125	2,747
清掃センター	15,228	154,375	61,195	0	462	0	1,523,653	6,673,244	1,194	8,429,351
健康づくり課	1,088	0	0	0	0	211	0		90	1,389
福祉課	16,359	0	1,223	0	119	208,380	223,086		785	449,951
介護高齢課	6,682	25,381	937	0	20	176	33,887		508	67,591
子ども課	2,700	50	0	0	12,268	0	57,696		194	72,907
商工観光課	4,514	0	0	0	23,853	0	467,640		159	496,166
農林課	1,021	0	0	0	0	0	2,065		66	3,152
農村整備課	2,888	0	0	0	0	0	48,621		163	51,672
土木課	6,751	0	0	0	0	0	28,743		325	35,819
建築課	2,332	0	0	0	0	0	0		140	2,472
都市計画課	1,250	0	0	0	0	0	0		80	1,330
都市施設課	10,151	1,955	3,726	0	0	228,620	871,711		255	1,116,417
北藤岡駅周辺土地区画 整理事務所	928	672	0	0	21	0	6,549		71	8,241
地域振興課	6,201	0	503	0	296	0	25,591		330	32,922
にぎわい観光課	4,313	1,783	0	15,718	16,327	0	103,883		55	142,078
経営課	0	0	0	0	114	0	2,248,565		0	2,248,679
水道工務課	7,240	0	1,164	0	0	0	0		388	8,791
浄水課	15,542	0	0	0	0	0	0		631	16,172
下水道課	2,747	0	0	0	0	0	20,059		582	23,388
議事課	1,966	0	0	0	0	0	0		68	2,033
農業委員会事務局	464	0	0	0	0	0	0		36	500
教育総務課	9,500	1,519	20,085	0	0	219	747,312		1,008	779,643
学校教育課	1,717	64,510	0	0	1,110	0	8,263		146	75,747
生涯学習課	6,180	29,200	0	0	346	1,948	197,150		520	235,344
文化財保護課	10,387	827	593	0	0	0	83,158		398	95,363
スポーツ課	2,459	0	1,017	0	0	0	0		124	3,600
学校給食センター	1,100	0	464		275,276	0	396,028		95	672,964
図書館	1,404	0	998	0	0	28,068	48,515		119	79,103
鬼石病院	15,403	172,789	9,634	0	59,262	0	444,484		1,328	702,899
合計	196,140	596,277	127,430	15,718	389,481	606,967	8,157,204	6,673,244	12,481	16,774,942

※その他・排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの(表2参照)

資料3-2 基準年度（平成27年度）所属別温室効果ガス排出状況（CO₂換算：単位kg-CO₂）

所属名	燃料の使用						電気の 使用	廃棄物 の使用	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	3,596	0	0	0	0	0	0		192	3,788
財政課	22,664	13,272	17,335	0	0	151	301,632		1,675	356,729
自治交流課	0	1,175	0	0	73	123,309	343,260		0	467,817
総務課	0	0	57	0	0	0	0		0	57
地域安全課	7,672	0	3,710	0	100	0	25,296		438	37,216
契約検査課	557	0	0	0	0	0	0		33	590
市民課	800	119,164	0	0	0	454	35,282		48	155,748
税務課	742	0	0	0	0	0	0		46	788
納税相談課	1,670	0	0	0	0	0	0		127	1,797
保険年金課	1,253	0	0	0	0	0	0		76	1,328
環境課	2,318	0	3	0	0	0	0		114	2,434
清掃センター	12,115	147,453	59,366	0	637	0	1,757,203	5,904,757	1,213	7,882,743
健康づくり課	1,346	0	0	0	0	254	0		109	1,708
福祉課	10,707	0	0	0	84	271,579	277,565		556	560,491
介護高齢課	8,614	22,759	1,300	2,710	271	531	38,169		520	74,874
子ども課	2,793	50	0	0	12,629	0	66,948		284	82,705
商工観光課	1,578	5,822	0	0	34,897	0	454,717		69	497,081
農林課	1,346	0	0	0	0	0	2,130		72	3,547
農村整備課	4,002	0	0	0	0	0	10,140		187	14,330
土木課	7,313	0	0	0	0	0	29,907		340	37,559
建築課	3,422	0	0	0	0	0	0		193	3,615
都市計画課	10,267	2,637	3,369	0	107	301,346	730,787		305	1,048,820
北藤岡駅周辺土地区画 整理事務所	1,299	209	0	0	36	0	8,308		80	9,932
地域振興課	7,371	498	815	16,260	93	0	52,381		376	77,794
にぎわい観光課	2,923	4,997	0	17,886	16,097	0	126,464		48	168,415
経営課	0	0	0	0	113	0	2,466,883		0	2,466,996
水道工務課	8,097	0	2,064	0	0	0	0		400	10,561
浄水課	12,366	0	0	10,840	0	0	0		511	23,717
下水道課	3,153	0	0	0	0	0	12,646		159	15,958
議事課	879	0	0	0	0	0	0		44	923
農業委員会事務局	383	0	0	0	0	0	0		28	411
教育総務課	6,677	1,992	29,990	0	0	269	944,099		1,170	984,197
学校教育課	2,114	61,558	0	0	1,226	0	8,117		151	73,166
生涯学習課	7,292	12,679	0	0	759	1,600	250,043		419	272,791
文化財保護課	6,832	0	1,084	0	0	0	81,116		373	89,404
スポーツ課	2,596	0	851	0	0	0	0		101	3,549
学校給食センター	872	916	929	325,200	13,399	0	177,239		86	518,641
図書館	844	0	1,091	0	0	20,492	55,335		75	77,837
鬼石病院	12,758	119,968	11,693	0	64,331	0	450,958		1,050	660,757
合計	181,231	515,149	133,657	372,896	144,852	719,983	8,706,624	5,904,757	11,667	16,690,816

※その他…排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの（表2参照）

藤岡市地球温暖化対策実行計画
平成30年度実績報告書

令和2年1月

発行 藤岡市 市民環境部 環境課

〒375-8601

群馬県藤岡市中栗須327番地

電話 0274-40-2264 (直通)

FAX 0274-24-9268

Eメール

kankyo@city.fujioka.gunma.jp
